

# ES/1 NEO

MFシリーズ

## V05L21R2

# Release News Letter

## IBMシステム

### 目次

#### 【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて  
PC製品 サポート終了のお知らせ

#### 【HOST】

資源使用量比較一覧

リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別 … 1

リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別 … 2

MF-CICS … 3

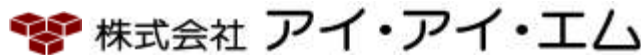
MF-eASSIST … 5

#### 【PC】

リリースニュースレター機能一覧 プログラム別 … 9

リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別 … 10

Performance Navigator … 11



本リリースニュースレターは、V05L21R2 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア (x:¥Rnl) 内のレターをご参照ください。

# 改版履歴

---

日付	版数	内容
2022/2/1	1	V5L21R2 リリース

# ES/1 NEO MF シリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより 30 ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



図. 製品ライフサイクルのイメージ

<バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L21R2 の場合

**V 0 5 L 2 1 R 2**

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2022/5/31
VERSION/LEVEL/REVISION ---- 05. 21. 02
```

<今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L21R2	2022年2月	2024年8月
V05L21R1	2021年10月	2024年8月
V05L20R3	2020年11月	2023年5月
V05L20R2	2019年11月	2023年5月
V05L20R1	2019年3月	2023年5月

<通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

<バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

以上

# PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のアプリケーションを、2022年7月31日にてサポート終了とさせていただきます。

## <サポート終了アプリケーション>

Internet Explorer 8~11

V05L21R2 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

## <オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 8.1

Microsoft® Windows® Server 2012

Microsoft® Windows® Server 2012 R2

Microsoft® Windows® 10

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

Microsoft® Windows® Server 2022

## <アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013

Microsoft® Excel2016 / Word2016

Microsoft® Excel2019 / Word2019

Microsoft® Excel2021 / Word2021

Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Internet Explorer 8~11 (※2022年7月31日まで)

Windows Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.5.2 以上

以上

## ES/1 NEO MFシリーズ V05L21R2 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L21R2 と、以前のリリース (V05L21R1) との資源使用量比較一覧です。  
各項目の意味は以下の通りです。

CPU	以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
データ	以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L21R1 vs V05L21R2		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-ADVISOR	CPECNVRT	—	0	—
	CPEPRT00	—	0	—
	CMOSPRTO	—	0	—
	HIBICCHKO	—	0	—
	CPEREGOO	—	0	—
	SMFPRT00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
	RAIDPRT0	—	0	—
	RAIDCNFO	—	0	—
	VOLLST00	—	0	—
CPEMQSOO	—	0	—	
MF-MAGIC	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXWLCOO	—	0	—
MF-SCOPE	JOBANLST	—	0	—
	JOBMONTH	—	0	—
	JOBDTL10	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
MF-PREDICT	PNAVIA DT	—	0	—
	PRDIOSOO	—	0	—
MF-AUDIT	CPEDSN00	—	0	—
	CPEREGOO	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	DSNCSV00	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
	PNAVIA DT	—	0	—
	CPEDASDO	—	0	—
	PAGPRT00	—	0	—
	CPEVOLGP	—	0	—
	CPETAPEO	—	0	—
	CPEVTSOO	—	0	—
	CPEVSMOO	—	0	—
	DSNCSV00	—	0	—
TSSCSV00	—	0	—	
CPETS700	—	0	—	
JOBDSNCV	—	0	—	
MF-eASSIST	PNAVICEC	—	0	—
	PNAVJOB0	—	0	—
	PNAVJOB1	—	0	—
	PNAVIVSP	—	0	—
	PNAVIMS	—	0	—
	PNAVIMSL	—	0	—
	PNAVICGS	●	0	●
	PNAVIVTS	—	0	—
	PNAVIVSM	—	0	—
	PNAVIB2	—	0	—
PNAVIA DT	—	0	—	
PNAVTS70	—	0	—	
PNCICSSST	●	0	●	
MF-ZVM	ZVMPT00	—	0	—
	ZVMCSV00	—	0	—
MF-WebSphere	CPEWASOO	—	0	—
MF-DB2	CPEDB200	—	0	—
	DB2TRCOO	—	0	—
MF-CICS	CICSPRTO	—	0	—
	CICSTRCO	—	0	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所に色を付けて表示します。

例.	MF-ADVISOR	CPEPRT00	—	124	—
		CMOSPRTO	—	4	—

- 注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。  
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。

【OVER16機能 指定方法】 実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。  
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

//SHELL EXEC PGM=CPESHELL, REGION=1024M, PARM=PARM	<=追加・変更
//SYSPRINT DD SYSOUT=*	
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*	
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 5))	
//CPEPARM DD *	<=追加
OVER16=SYMBOL	<=追加
OSTYPE=#OSTYPE	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」  
'3.3.2 OVER16機能' をご参照ください。

既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-CICS	CICSPRT0	拡張	1	トランザクションクラス関連情報に最大値やピーク値を追加			●			3	521-043
		不具合	2	チューニングヒントの詳細情報にファイル名が出力されない						4	521-044
MF-eASSIST	PNAVCICS	拡張	3	ジョブ名の項目追加と、その絞り込みオペランドを追加				●		5	521-045
		拡張	4	ジョブ名の項目追加と、その絞り込みオペランドを追加				●		7	521-046
		拡張	5	トランザクションクラス関連情報に最大値やピーク値を追加						8	521-047

◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

既存プロセッサ

拡張一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-CIGS	CICSPRT0	拡張	1	トランザクションクラス関連情報に最大値やピーク値を追加			●			3	521-043
MF-eASSIST	PNAVCIGS	拡張	2	ジョブ名の項目追加と、その絞り込みオペランドを追加				●		5	521-045
		拡張	3	ジョブ名の項目追加と、その絞り込みオペランドを追加				●		7	521-046
		拡張	4	トランザクションクラス関連情報に最大値やピーク値を追加						8	521-047

不具合一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-CIGS	CICSPRT0	不具合	1	チューニングヒントの詳細情報にファイル名が出力されない						4	521-044

◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

# MF-CICS

## CICSPRT0

### 521-043. トランザクションクラス関連情報に最大値やピーク値を追加

分類		数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	●	—

次のレポートに最大値やピーク値の項目を追加しました。

#### 【対象レポート】

- ・ トランザクション・クラス・サマリー・レポート (SW08)

#### 【追加項目】

- ・ PEAK ACT : 最大トランザクション数
- ・ PEAK QUE : キューに入れられた最大トランザクション数
- ・ MAX ACT : 同時実行可能なタスク数に到達した回数
- ・ PRG THR : パージしきい値に到達した回数

#### 【トランザクション・クラス・サマリー・レポート (SW08)】

<V05L21R1>

```

(C) I I M CORP. 1987-2021      EXPERT SYSTEM / ONE *** TRANSACTION CLASS REPORT ***      CICSPRT0  3
PSW=SW08                      --- TRANSACTION CLASS SUMMARY REPORT ---                      VER=05 LVL=21

*** REGION = IIMREG1 *** ( 22/01/30 03:34:28 - 22/01/31 00:00:00 )

          TOTAL      ---- ACCEPT ----      ---- PURGE ----      TOTAL
T-CLASS  HMMSS T  TRANSACT  IMMED  QUEUE  QUEUE  IMMED  QUE  TIME
TRXCLS01 033428 E    520      0      0      0      0 00:00:00
  
```

<V05L21R2>

```

(C) I I M CORP. 1987-2022      EXPERT SYSTEM / ONE *** TRANSACTION CLASS REPORT ***      CICSPRT0  3
PSW=SW08                      --- TRANSACTION CLASS SUMMARY REPORT ---                      VER=05 LVL=21

*** REGION = IIMREG1 *** ( 22/01/30 03:34:28 - 22/01/31 00:00:00 )

          TOTAL      PEAK PEAK      ---- ACCEPT ----      MAX      ---- PURGE ----      PRG TOTAL
T-CLASS  HMMSS T  TRANSACT  ACT  QUE  IMMED  QUEUE  ACT  QUEUE  IMMED  THR  QUE  TIME
TRXCLS01 033428 E    520    260  156      0      0    104      0      0    52 00:00:00
  
```



## 521-044. チューニングヒントの詳細情報にファイル名が出力されない

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

### 【現象】

次の条件を満たす場合、チューニングヒントの詳細情報にファイル名が出力されませんでした。

<発生条件>

- ・複数リージョンで同一のチューニングヒントが出力
- ・前出のリージョンの最後のファイル名と後続のリージョンのファイル名が同じ

<対象チューニングヒント>

名前	説明
FILE01n	ファイル処理でSTRING待ちが発生しています
TXC01n & TXC02n	待機中または即時パージされたトランザクション・クラスがあります

### 【原因】

該当レポートの出力処理において詳細情報を出力する際に、ファイル名の重複出力を回避するため、ファイル名で SORT 後、前出のファイル名と同じファイル名は出力しない処理を行っています。

しかし、出力したファイル名を保存する変数の初期化をリージョンごとに行っておらず、前出のリージョンで処理されたファイル名が残っていました。そのため後続のリージョンにおいてファイル名が出力されませんでした。

### 【対処】

プロセジャを修正し、条件を全て満たす場合でも正しくファイル名を出力するようにしました。

### 【チューニングヒント (FIL013)】

<V05L21R1>

```
重要度 3  ---- ファイル処理でSTRING待ちが発生しています。( *FIL013* )
          設定したSTRING数を超える同時アクセス要求が発生したため、待ちが発生しています。
          重要なファイルへのアクセスが待たされていないかご確認下さい。
```

```
FILENAME TIME      MAX ST-WT
```

<V05L21R2>

```
重要度 3  ---- ファイル処理でSTRING待ちが発生しています。( *FIL013* )
          設定したSTRING数を超える同時アクセス要求が発生したため、待ちが発生しています。
          重要なファイルへのアクセスが待たされていないかご確認下さい。
```

```
FILENAME TIME      MAX ST-WT
IIMFILE1 08:15:30    5
```

# MF-eASSIST

## PNAVICIS

### 521-045. ジョブ名の項目追加と、その絞り込みオペランドを追加

分類		数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●

CICS 統計情報のレコードにジョブ名の項目を出力できるようにしました。またジョブ名で出力レコードを絞り込むオペランドを追加しました。

#### 【追加オペランド(1)】

```
%PNCICRGN JOBNAME=
```

JOBNAME = [name | (name, name, ...)] : 出力対象ジョブを指定します。比較制御文字を利用できます。  
REGION オペランドと併用はできません。

#### 【対象レコード(1)】

【CICS トランザクション(全体)】レコード名 : CICS\_REG

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

#### 【追加オペランド(2)】

```
%PNCICTRC JOBNAME=
```

JOBNAME = [name | (name, name, ...)] : 出力対象ジョブを指定します。比較制御文字を利用できます。  
REGION オペランドと併用はできません。

#### 【対象レコード(2)】

【CICS トランザクション (TRX 毎)】レコード名 : CICS\_TRC\_TRX

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS トランザクション (LU 毎)】レコード名 : CICS\_TRC\_LU

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS トランザクション (TERM 毎)】レコード名 : CICS\_TRC\_TERM

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS トランザクション (USER 毎)】レコード名 : CICS\_TRC\_USER

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS トランザクション (PROG 毎)】レコード名 : CICS\_TRC\_PGM

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

**【追加オペランド(3)】**

**%PNCICGRP JOBNAME=**

JOBNAME = [name | (name, name,...)] : 出力対象ジョブを指定します。比較制御文字を利用できます。  
REGION オペランドと併用はできません。

**【対象レコード(3)】**

【CICS トランザクション (TRX グループ毎)】レコード名 : CICS\_GRP\_TRX

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS トランザクション (LU グループ毎)】レコード名 : CICS\_GRP\_LU

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS トランザクション (TERM グループ毎)】レコード名 : CICS\_GRP\_TERM

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS トランザクション (USER グループ毎)】レコード名 : CICS\_GRP\_USER

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS トランザクション (PROG グループ毎)】レコード名 : CICS\_GRP\_PGM

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

# PNCICSST

## 521-046. ジョブ名の項目追加と、その絞り込みオペランドを追加

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	—

CICS 統計情報のレコードにジョブ名の項目を出力できるようにしました。またジョブ名で出力レコードを絞り込むオペランドを追加しました。

### 【追加オペランド】

```
%PNCICRGN SJOB= ,EJOB=
```

- SJOB = [name | (name, name, ...)] : 出力対象ジョブを指定します。比較制御文字を利用できます。
- EJOB = [name | (name, name, ...)] : 出力対象外ジョブを指定します。比較制御文字を利用できます。

### 【対象レコード】

【CICS 統計情報 (DSA)】レコード名 : CICSST\_DSA

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS 統計情報 (一時データ)】レコード名 : CICSST\_TD

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS 統計情報 (一時記憶域)】レコード名 : CICSST\_TS

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS 統計情報 (トランザクション)】レコード名 : CICSST\_TRX

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS 統計情報 (トランザクションクラス)】レコード名 : CICSST\_TCLS

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS 統計情報 (ファイル)】レコード名 : CICSST\_FILE

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS 統計情報 (DB2 グローバル統計)】レコード名 : CICSST\_DB2G

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

【CICS 統計情報 (DB2 リソース統計)】レコード名 : CICSST\_DB2R

フィールド名	説明
JOBNAME	ジョブ名

### 【制限事項】

- ・ SREG、EREG オペランドと併用はできません。

## 521-047. トランザクションクラス関連情報に最大値やピーク値を追加

分類		数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—

CICS 統計情報(トランザクションクラス)レコードに、最大値やピーク値の項目を追加しました。

### 【対象レコード】

【CICS 統計情報(トランザクションクラス)】レコード名 : CICSST\_TCLS

フィールド名	説明
TRXCNT_PEAK	最大トランザクション数
QUEUE_PEAK	キューに入れられた最大トランザクション数
TIMES_MAX_ACT	同時実行可能なタスク数に到達した回数
TIMES_PURGE_LIMIT	ページしきい値に到達した回数

ES/1 NEO MFシリーズ【PC】リリースニュースレター機能一覧 プログラム別

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	11	521-050
	拡張	2	Microsoft® Windows® Server 2022への対応	11	521-051
	拡張	3	Microsoft® Office 2021への対応	11	521-052
	拡張	4	Microsoft® Office製品の使用を最小限にするオプションを拡充	12	521-053
	拡張	5	EMIF論理チャネル使用率グラフの追加	13	521-054
	拡張	6	結合機構関連グラフの追加	14	521-055
	変更	7	一部動作のデフォルト値を変更	15	521-056
	不具合	8	標準グラフに誤り	16	521-057

## ES/1 NEO MFシリーズ【PC】リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別

### 拡張一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	11	521-050
	拡張	2	Microsoft® Windows® Server 2022への対応	11	521-051
	拡張	3	Microsoft® Office 2021への対応	11	521-052
	拡張	4	Microsoft® Office製品の使用を最小限にするオプションを拡充	12	521-053
	拡張	5	EMIF論理チャネル使用率グラフの追加	13	521-054
	拡張	6	結合機構関連グラフの追加	14	521-055

### 変更一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	変更	1	一部動作のデフォルト値を変更	15	521-056

### 不具合一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	不具合	1	標準グラフに誤り	16	521-057

## Performance Navigator(拡張)

### 521-050. Microsoft®365 Apps 環境への対応

Microsoft®365 Apps (旧名 : Office®365)に対応しました。対象となる更新チャンネルは次の通りです。

<更新チャンネル>

チャンネル	バージョン	ビルド	サービス開始日
半期エンタープライズチャンネル	2102	13801.21004	2021/07/13

### 521-051. Microsoft® Windows® Server 2022 への対応

Microsoft® Windows® Server 2022に対応しました。

### 521-052. Microsoft® Office 2021 への対応

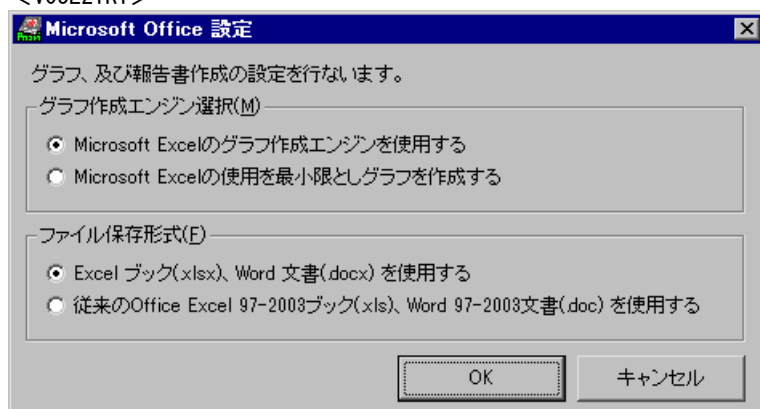
Microsoft® Office2021に対応しました。



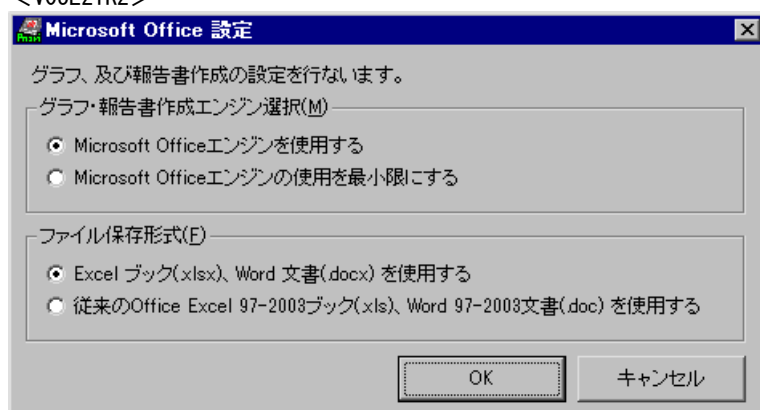
## 521-053. Microsoft® Office 製品の使用を最小限にするオプションを拡充

Microsoft® Excel だけでなく Microsoft® Word の使用も最小限にできるように拡充しました。この拡充に伴い、GUI の文章を変更しました。『Microsoft Office エンジンの使用を最小限にする』を選択した場合、WORD 文書にグラフを貼り付ける処理で別アプリケーションを使用します。それに伴い、報告書貼り付け時のログファイルを新規に出力します。

<V05L21R1>



<V05L21R2>



### 【新規出力されるログファイル】

- ・ x:¥IIM¥MF¥Pnavi¥PasteToWord. log

### 【注意/制限事項】

- ・ V05L21R1 で『Microsoft Excel の使用を最小限』を選択していた状態でバージョンアップした場合、貼り付け方法の変更により DOC 形式の報告書の見栄えが変化します。
- ・ V05L21R2 で『Microsoft Office の使用を最小限』を選択した場合、HTML 形式の報告書は作成できません。ただし PWS グラフと連携用インデックス (PHIndexR. txt) は正常に作成できます。

## 521-054. EMIF 論理チャンネル使用率グラフの追加

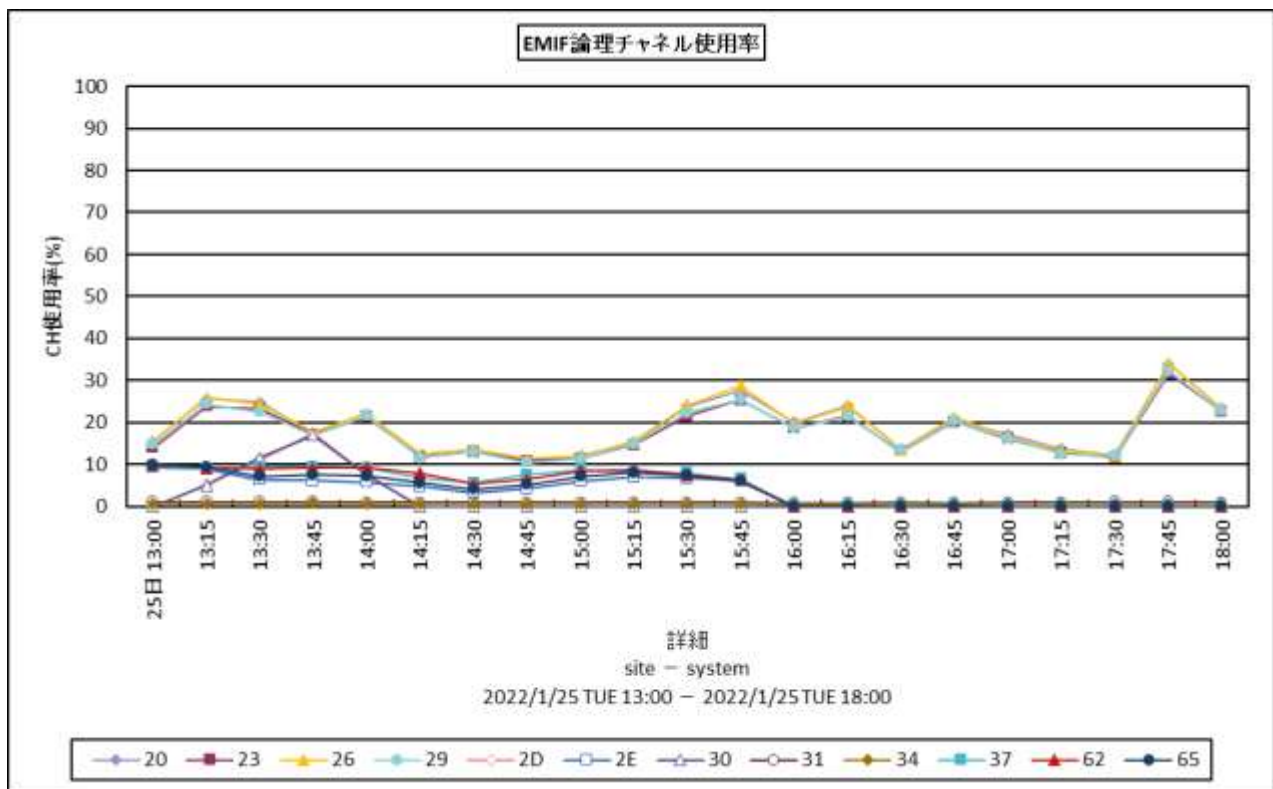
標準グラフに、EMIF 論理チャンネル使用率グラフを追加しました。

IBM(z/OS) データでは、PNAVICEC プロセッサの EMIF スイッチの指定により、チャンネル使用率が次のいずれかに切り替わります。

- ① 「チャンネル自体の使用率（筐体）」
  - ② 「該当の論理区画（LPAR）が使用したチャンネル使用率」
- ②の使用率に対応した標準グラフを追加しました。

**【追加グラフ】** ※[時系列]には詳細、時間、月次のいずれかが入ります

EMIF 論理チャンネル使用率[時系列]



## 521-055. 結合機構関連グラフの追加

標準グラフに、結合機構に関するグラフを追加しました。

**【追加グラフ】** ※[時系列]には詳細、時間、月次、年次のいずれかが入ります

結合機構：結合機構サブチャネル使用状況[時系列]
結合機構：結合機構処理要求数(合計)[時系列]
結合機構：結合機構ロックストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求数(合計)[時系列]
結合機構：結合機構ロックストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求率[時系列]
結合機構：結合機構リストストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求数(合計)[時系列]
結合機構：結合機構リストストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求率[時系列]
結合機構：結合機構キャッシュストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求数(合計)[時系列]
結合機構：結合機構キャッシュストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求率[時系列]
結合機構：結合機構ストラクチャの遅延させられた要求数(合計)[時系列]
結合機構：結合機構ストラクチャの要求数内訳[時系列]
複数システム：結合機構サブチャネル使用状況[時系列]
複数システム：結合機構処理要求遅延回数(合計)[時系列]
複数システム：結合機構ロックストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求数(合計)[時系列]
複数システム：結合機構ロックストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求率[時系列]
複数システム：結合機構リストストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求数(合計)[時系列]
複数システム：結合機構リストストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求率[時系列]
複数システム：結合機構キャッシュストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求数(合計)[時系列]
複数システム：結合機構キャッシュストラクチャの同期要求から非同期要求に変更された要求率[時系列]
複数システム：結合機構ストラクチャの遅延させられた要求数(合計)[時系列]
複数システム：結合機構ストラクチャの要求数内訳[時系列]

### 【結合機構サブチャネル使用状況[詳細]】

このグラフは、結合機構のサブチャネル使用率の変動状況を示します。



## Performance Navigator(変更)

### 521-056. 一部動作のデフォルト値を変更

一部動作の設定選択のデフォルト値を変更しました。

この変更に伴う従来の WORD 報告書作成処理には影響ありません。

動作	変更前	変更後
PWS 連携をする or しない	しない	する
PWS 連携用インデックス (PHIndexR.txt) を作るタイミング	報告書作成時	グラフ作成時

## Performance Navigator(不具合)

### 521-057. 標準グラフに誤り

#### 【現象】

次の条件を満たす場合、一部の標準グラフの数値に誤りがありました。

#### <条件>

- ・ V05L21R1
- ・ 複数区画が存在する

#### <対象グラフ>

- ・ MSU 使用値内訳[リアルタイム]
- ・ MSU 使用値予測 DEFINED CAPACITY 値削減[詳細]

#### 【原因】

複数区画が存在する場合、収集区画以外の区画は4時間平均 MSU 値が欠損値となります。対象グラフは、内部クエリーの Where 句にて『4時間平均 MSU 値≠0』を指定していた為、欠損値を含むレコードもグラフ作成対象となりグラフ数値に誤りが生じていました。

#### 【対処】

クエリーの Where 句を『4時間平均 MSU 値>0』に修正し、正しくグラフ出力できるようにしました。